

# 平成21年度 緑区区政運営方針

---

*40th Anniversary*



2009年5月  
横浜市緑区役所

## 緑区民の皆さまへ

平成 21 年、横浜市は開港 150 周年を迎え、緑区も区制 40 周年を迎えました。この節目の年にむけて緑区では、平成 19 年を「ホップ」、平成 20 年を「ステップ」の年と位置づけ、事業を進めてまいりました。今年は、緑区の将来のために「ジャンプ」をする年としなければなりません。

今回策定した「平成 21 年度緑区区政運営方針」は、今年の区政の目標や事業の進め方をお示しするものです。現在は大変厳しい社会経済状況に置かれていますが、この記念すべき年を祝い、飛躍の年にするための取組を、区民の皆さまを始め、地域、企業、市民団体の皆さまとともに職員一丸となって進めてまいりますので、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

平成 21 年 5 月

緑区長

津田 祐孝

### 区政運営の基本目標

～ 住みやすいまち・親しまれる区役所 をめざします！ ～

この基本目標を達成するために、4 つの「区政運営の基本姿勢」と緑区の現状や背景を踏まえた「区政運営の 6 つの柱」に沿った事業を展開します。

### 区政運営の基本姿勢

緑区役所では、基本目標の達成に向け、次の 4 つを基本姿勢として施策を進めます。

#### 基本姿勢 1：区民の声を聴き、区政・市政に反映します

区民の皆さまが今、何を求めているのか、区役所が地域のため、区民の安全・安心のために何をすべきなのかを的確にとらえ、“区民の声を区政・市政に反映させる区役所”を目指します。

#### 基本姿勢 2：区民との“協働の輪”を広げます

地域によって異なる様々な課題に対応するためには、地域の皆さまの力が不可欠です。“区民の皆さまと協働して課題解決に取り組む区役所”を目指します。

#### 基本姿勢 3：区役所の“好感度”を高めます

区民の皆さまにより良い案内や対応ができるよう、職員の窓口対応力の一層の向上に努め、“信頼される区役所”を目指します。

#### 基本姿勢 4：区役所の“組織力”を強めます

基本目標達成のためには職員一人ひとりが区政の基本目標や職場の目標を理解し、生き生きと仕事に取り組むことが重要です。“風通しの良い活力ある職場づくり”を推進し、職員の仕事満足度の向上を目指し、その成果を区民の皆さまに還元します。

# 現在の緑区について

平成21年  
2009

安政 6 年 6 月 2 日 (1859 年 7 月 1 日) の開港によって、それまで小さな村だった横浜は、港を中心として発展を続け、現在の大都市横浜が築かれました。

昭和 14 年 4 月発足当時の緑区にあたる都筑郡が横浜市に編入。港北区の一部となり、昭和 44 年 10 月港北区から区分し、緑区が誕生しました。

平成 21 年は横浜開港 150 周年、緑区制 40 周年の記念すべき年になります。

自然  
環境

大都市横浜の中でも、緑に恵まれた区

緑被率 44.3% (平成 16 年調査結果) 18 区中 1 位、横浜市全体では 31.0%  
鶴見川、恩田川、梅田川、岩川、鴨居川、高尾山

年齢  
構成

【平成 21 年 1 月 1 日現在】

平均年齢 41.85 歳 (18 区中 4 番目に若い区、横浜市全体は 42.83 歳)

15 歳未満人口の割合 14.8% (18 区中 3 位、横浜市全体は 13.4%)

65 歳以上人口の割合 18.2% (18 区中 14 位、横浜市全体は 19.1%)

公園  
里山

ズーラシア、「開国博 Y150」ヒルサイドエリア

県立四季の森公園、長坂谷公園、北八朔公園、霧が丘公園、東本郷公園、長津田  
みなみ台公園、新治里山公園(一部開園)、玄海田公園(一部開園)

三保市民の森・新治市民の森・鴨居原市民の森

都市基盤  
整備

平成 20 年 3 月 市営地下鉄グリーンライン開通

都市計画道路 山下長津田線 (長津田地区、鴨居地区) 都市計画道路 中山北山田  
線 (青砥北八朔川和地区) 都市計画道路 長津田駅南口線及び長津田駅南口駅前  
広場などを整備中

統計  
データ

人口：175,771 人 <人口ニュース、平成 21 年 5 月推計>

面積：25.42 km<sup>2</sup> <人口ニュース>

学校：

幼稚園 16 園 (全て私立) <平成 20 年度 学校基本調査>

小学校 17 校 (市立 16 校、私立 1 校) <平成 20 年度 学校基本調査>

中学校 10 校 (市立 6 校、私立 4 校) <平成 20 年度 学校基本調査>

保育所：26 園 (市立 4 園、私立 22 園) <横浜市ホームページ、平成 21 年 4 月現在>

事業所：3,429 事業所 <平成 18 年 事業所企業統計調査>

火災件数：51 件 <横浜市ホームページ、平成 20 年 1 月～12 月>

刑法犯件数：2,225 件 <緑警察署、平成 20 年 1 月～12 月>

## 区政運営の6つの柱

緑区の現状や背景を踏まえ、次の6つの柱に沿った具体的な取組を進めます。

### 新たなスタートの年です～緑区制40周年記念事業～

区制40周年記念事業の実施	5ページ
子ども達の夢の緑区推進事業	6ページ
未来へつなぐまちの魅力アップ事業	6ページ
緑芸術・文化事業	6ページ
区民まつり事業	6ページ

### 脱温暖化に挑戦します～G30・地球温暖化対策の推進～

地球温暖化対策の推進	7ページ
保育園エコキッズ事業	7ページ
ECOライフを楽しもう事業	7ページ
みどりクリーンアッププロジェクト事業	8ページ

### 地域の活動を支えます～地域力の推進～

自治会活動の活性化	9ページ
地域課題チャレンジ提案事業	9ページ
市民活動パワーアップ支援事業	10ページ
スポーツ振興事業	10ページ
商店街の“こだわり”再発見事業	10ページ
パソコン広場@（あっと）みどり事業	10ページ
学校・地域連携支援事業	10ページ
青少年地域サポート事業	10ページ
区民から親しまれる区役所づくり事業	10ページ

### もしもの時に備えます

地域防災力の向上	11ページ
新型インフルエンザ対策	11ページ
災害時要援護者把握支援事業	12ページ
地域防犯力の強化	12ページ
こどもの安全支援	12ページ
暮らしの衛生推進事業	12ページ
自転車等放置防止対策事業	12ページ

## 区民のつながりを強めます

みどりのわ・ささえ愛プランの推進	13 ページ
認知症予防・脳若返り事業	13 ページ
健康たうん・みどり推進事業	14 ページ
ほっとホームステイ・サポート事業	14 ページ
地域ふれあい事業「フェスタみどりのわ」	14 ページ
ママのハートバランス事業	14 ページ
DV対策事業	15 ページ
あんしん子育て応援事業	15 ページ
一時託児事業	15 ページ
あつまれっ！みどりっこまつり	15 ページ
保育園地域応援事業	15 ページ
精神障がい者家族あんしん入院支援事業	15 ページ
高齢者ふれあい事業	15 ページ
地域のささえ愛事業	15 ページ
養育ネットワーク事業	15 ページ

## 緑区を広く発信します。

広報活動の実施	16 ページ
広聴の充実	16 ページ
長津田駅行政サービスコーナー図書返却ボックス運営事業	16 ページ
区行政推進事業	16 ページ
未来へつなぐまちの魅力アップ事業（再掲）	16 ページ

## （区役所サービスと職員満足度向上に向けた取組）

区民から親しまれる区役所づくり事業（再掲）	17 ページ
事務処理ミス根絶の取組	17 ページ
職場の目標の共有	17 ページ

① 新たなスタートの年です～緑区制 40 周年記念事業～

# 開港150周年・緑区制40周年へ ホップ・ステップ・ジャンプ!

19 年からホップ・ステップと取り組んできた 40 周年記念事業もいよいよジャンプの年。区民、区役所が一体となって記念事業を盛り上げるとともに、次の 10 年につなげる年にします。

## 緑区の沿革

明治 41 年	9 月	横浜線が横浜鉄道として開通、同時に中山駅と長津田駅開業
昭和 14 年	4 月	横浜市の第 6 次市域拡張によって、発足当時の緑区に当たる都筑郡が横浜市に編入 港北区の一部となる。(人口 23,139 人)
昭和 37 年	12 月	鴨居駅開業
昭和 41 年	4 月	田園都市線長津田駅まで開通
昭和 42 年	4 月	こどもの国線開通
昭和 44 年	10 月	港北区の川和支所・山内出張所の所轄の区域として緑区誕生
昭和 47 年	3 月	緑区総合庁舎完成、現在地(寺山町 118 番地)へ移転
昭和	7 月	緑消防署開設
昭和 48 年	4 月	緑警察署開設
昭和 54 年	4 月	十日市場駅開業
昭和 63 年	4 月	県立四季の森公園開園
平成 3 年	10 月	川和郵便局が中山町に移転し、緑郵便局として業務開始
平成 5 年	7 月	長津田駅行政サービスコーナー業務開始
平成 6 年	11 月	行政区再編の実施により新しい緑区誕生(人口 149,319 人) 新・緑土木事務所が十日市場町に開所
平成 11 年	4 月	よこはま動物園ズーラシア開園
平成 20 年	3 月	市営地下鉄グリーンライン開通

## 区制 40 周年記念事業の実施

各課

### 記念式典と 7 つの記念事業を実施 します。

20 年度に記念事業のアイデアを募集したところ 70 件の応募がありました。

その中から採用された  
7 つのアイデアを実施  
します。



緑区キャラクター  
ミドリ

### 記念式典の開催(10 月)

区民からアイデアを募集した記念事業の実施

- ・廃食用油でごみ収集車を走らせよう
- ・「水と緑と花の回廊」(150 万本植樹行動)
- ・緑区制 40 周年記念切手の販売
- ・「緑区ガーデニングコンテスト」の実施
- ・区民マラソン大会の開催(2 月実施済)
- ・緑区制 40 周年記念メニューの発売
- ・みんなの社会科見学



### 目標

- ・区民からアイデアを募集した記念事業を区民と区役所が協働により実施

## 開港 150 周年記念事業

(財)横浜開港 150 周年協会が主体となって、未来への「出航」をテーマに、開港 150 周年を記念し、「開国博 Y150」を開催します。

「開国博 Y150」は、横浜・赤レンガ倉庫周辺の「ベイサイドエリア」、横浜駅から山下・山手地区の「マザーポートエリア」、そして緑区と旭区にまたがる横浜動物の森公園の中にあり、よこはま動物園ズーラシア隣接地区の「ヒルサイドエリア」の 3 エリアで開催され、緑区が玄関口となる「ヒルサイドエリア」では横浜の里山に囲まれた緑あふれる環境の中で、公募で集まった市民スタッフが中心になって、トークショーやワークショップ、パフォーマンスなど様々なプログラムを展開します。

### 竹の海原



「夢みどり 50 プラン」の推進

未来を担う青少年の声を行政に活かすため、自分たちの住む地域社会を見つめ、10年後の緑区の姿を考える機会として、20年度に緑区の子も達が「夢みどり 50 プラン」を作成しました。



「夢みどり 50 プラン」

昨年度子ども達が主体となって策定した「夢みどり 50 プラン」(以下、プラン)を子ども達とともに推進します。

- ・プランの実行等の企画運営を行います。  
子ども達の夢の緑区推進委員会の実施(通年)
- ・プランのうち、実現可能なものから取り組みます。  
夢みどり子ども会議の実施(年3回)
- ・地域や異世代とのふれあいの場として、また、プランの取組をPRする場として、開催します。  
夢みどりフェスタ(仮称)の開催(3月)

目標

- ・50プラン実現に向けた子ども達の取組 3つ以上を支援
- ・夢みどりフェスタの開催
- ・プランの実現方法を検討し、今後のスケジュールを決定

未来へつなぐまちの魅力アップ事業

緑区の魅力を市内外へPRします。

「開国博 Y150」の北の玄関口であり、開港 150 周年による集客効果が期待でき、緑区魅力をPRするまたとないチャンスとなっています。

テーマイベント「開国博 Y150」  
～未来への「出航」をテーマに～  
ヒルサイドエリア  
会期:7月4日～9月27日  
ベイサイドエリア  
会期:4月28日～9月27日  
マザーポートエリア  
2009年の年間を通じて開催

グリーンライン開業により、東京方面からのアクセスも良好になった緑区をPRします。

- 緑区新たな魅力の発掘事業
- ・フルーツパーク(仮称)の構想検討
- 緑区魅力PR事業
- ・区内のみどころを紹介するガイドボランティアの養成
- ・緑区魅力を紹介する広報物の作成
- ・みどころ案内サインの設置
- ・「えきちか ステージ」の開催

目標

- ・中山駅を利用している人が増加している。
- 広報物** 配布部数 50,000部、配布箇所 区外 51箇所
- みどころ案内サイン設置**  
サイン設置によって、案内できるみどころを 15箇所増やす。
- えきちか ステージ**  
イベントの認知度が上がり、参加者数が増加している。  
(来場者数 1,200人、出演者数 200人)

緑芸術・文化事業 < 地域振興課 生涯学習支援係 >

区民による文化活動や、良質な芸術を鑑賞する機会を提供します。

区民まつり事業 < 地域振興課 地域活動係 >

世代間の交流と連携を図るとともに、区民意識や一体感を醸成し、地域や団体の活性化を図ることを目的とした緑区民まつりを開催します。

全国緑区フォーラム

「緑区」は横浜市を含め、さいたま市、千葉市、名古屋市と全国に4箇所あります(平成 21年5月現在)。区制 40周年を契機に4つの緑区がホームページなどを通じた交流を図ります。

# 脱温暖化に挑戦します～G30・地球温暖化対策の推進～

地球規模で進行する温暖化に区民・自治会・区民活動団体・事業者が協働であらゆる側面から対策に取り組み、脱温暖化行動の定着を図ります。

## 地球温暖化対策の推進

土木事務所、区政推進課、総務課

### 身近にできる地球温暖化対策を推進します

横浜市脱温暖化行動方針(CO-D030)のもと、より効果的な取組が求められています。



2025年までに一人当たりの温室効果ガスを30%減という目標を掲げています。横浜市は国が募集した「環境モデル都市」に、他の5都市とともに2008年7月に選定されています。

脱温暖化に向けて、区民や事業者、区役所が各々にあった取組を推進します。

- ・環境家計簿の普及促進により、各家庭からの排出量を算出した「緑区モデル」の策定(“見える化”)(通年)
- ・自家用車からのCO<sub>2</sub>排出抑制の呼びかけ(7～12月)
- ・講演会を開催し、分かりやすい情報提供に努めます(7月)
- ・庁舎を利用して緑のカーテンを育てます(5月～)

#### 目標

・緑区地球温暖化対策推進協議会の全会員が、会員独自の活動に応じた脱温暖化行動を実践している。

## 保育園エコキッズ事業

こども家庭支援課

### 小さい時から環境教育

未就学児から環境問題について身近に感じ、考え、実際に行動することができる人になることが求められています。

市立保育園では環境教育を行っていますが、近隣民間保育園児や地域の未就学児にも活動の機会を提供します。



保育園でのグリーンカーテン作業の様子

区民との協働の輪を広げ、子どもたちと脱温暖化に挑戦します。

- ・公園の花苗事業  
保育園と公園愛護会が協働で種から育てた花を公園に植えます。
- ・エコキッズお掃除隊  
市立保育園の年長クラスが毎月近隣公園を清掃します。
- ・緑のカーテンづくり  
市立保育園で緑のカーテンを育て、収穫物を用いた食育、地域交流を実施します。

#### 目標

- ・花苗数:1,200株、参加園数:14園
- ・緑のカーテンによる成果物(収穫物)を使っての地域交流事業・食育事業実施数:15回

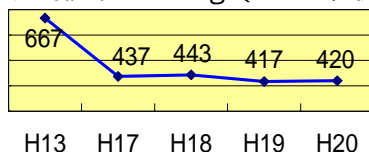
## Ecoライフを楽しもう事業(G30の推進)

地域振興課 資源化推進担当

### 「資源循環型社会」と「地球温暖化防止」の実現を目指します

ごみ量削減は地球温暖化防止にも大きな効果があり、さらなる取組が必要です。

平成20年度緑区の1日一人あたりのごみの排出量:420g(18区中最少)



区民・事業者との協働により、3Rを推進するため、マイバッグ利用促進キャンペーンや不要になった衣類を再利用するイベントの開催、市民活動団体との協働による環境教育などを実施します。

- ・環境にやさしい買い物キャンペーンの実施(9～11月)
- ・衣類のリユースの推進(6、10、2月)
- ・リユース食器導入経費の補助
- ・緑区G30・ストップ温暖化フェスタ2010の開催
- ・その他、各種イベントや自治会回覧などでの分別・減量啓発活動

#### 目標

- ・1日一人あたりのごみの排出量:417g
- ・リユース食器導入団体 5団体以上

#### 3Rとは

Reduce:発生抑制(ごみとなる物を減らす)  
(リデュース)

Reuse:再利用・再使用する(くり返し使う)  
(リユース)

Recycle:リサイクルする(再生品を使用する)  
(リサイクル)

#### 身近なリデュースの取組例

- 不要なものを買わない、たくさん買い過ぎない
- 詰替え可能な製品を購入する
- 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋を使わない
- 食べ残しをなくす
- 修理可能なものは修理して使う



など



きれいな街づくりをめざして

たばこのポイ捨てや不法投棄が完全になくなっていないため、そのための手法を検討し、引き続き実施します。

【不法投棄処理実績】

H16年度	61.4 t
H17年度	38.2 t
H18年度	52.4 t
H19年度	53.6 t
H20年度	45.8 t

花いっぱい活動事業

沿道緑化推進地区に年2回季節の花を植えます。

地域ふれあい活動事業

定期清掃を実施している団体に対して清掃用具を提供します。

駅さわやか活動事業

中山駅周辺早朝清掃、ポイ捨て禁止キャンペーンを実施します。

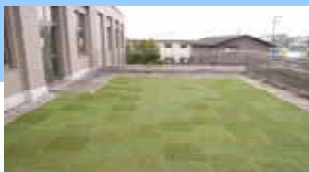
目標

- ・沿道緑化推進地区の拡大:3地区 5地区
- ・ポイ捨て禁止キャンペーン6回実施

自然エネルギーを活用した取組



ソーラーパネル設置



屋上緑化

講演会やイベントを通じた取組



イベント開催



講演会開催

みんなで取り組む温暖化対策  
いろいろあります  
まだまだできます  
温暖化対策！



ファイバー(衣類)リサイクル



マイバッグ推進



打ち水



グリーンカーテン

省エネ 省資源の取組

家庭でできる取組

## 地域の活動を支えます～地域力の推進～

地域の抱える課題が多様化・複雑化している中、市民の力の発揮によるいきいきとした地域コミュニティの形成に向けて、市民協働の推進、地域の活動支援に取り組みます。

より多くの区民が協力しながら参加、活動できる仕組みづくりや自主的な活動の支援などに区民とともに取り組みます。

### 自治会活動の活性化

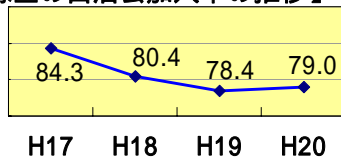
地域振興課 地域活動係

#### 地域との協働を進めていく上で、自治会の活動は欠かせません

自治会は、区民との協働を進めていく上で、大変重要なパートナーです。

自治会に加入していない住民もいるため、自治会加入者が減少し、地域活動の活性化を妨げる要因ともなっています。自治会活動の多くが高齢者の参加・奮起に依存している面もあります。

#### 【緑区の自治会加入率の推移】



自治会活動をサポートするとともに、加入促進を推進します。

#### 加入促進

- ・転入者向け加入促進パンフレットの配布(通年)
- ・広報よこはまみどり区版での自治会活動の紹介
- ・加入呼びかけポスターの掲示
- ・区民まつり等への出展でPRします(10月)

#### 活動支援

- ・自治会長、会計担当者向け研修会の開催(4月)
- ・自治会間の実務担当者意見交換会の開催(11月)
- ・IT活用研修会の開催(11月)

#### 目標

- ・地域自らが課題を解決するために、11地区連合町内会ごとに現状が把握できている。

### 地域課題チャレンジ提案事業

地域振興課 地域活動係

#### 地域の課題解決のために助成します

地域の課題解決のためには、区民及び行政相互に協働の輪を広げていく必要があります。

20年度は17の協働事業を実施し、21年度は15の協働事業を採択しています。

#### 2種類のコースで募集しました

##### スタートアップコース

地域の課題解決のために、活動のスタートを支援するコース

##### チャレンジコース

活動の更なる発展を応援するコース

自治会や市民活動団体等が、協働で地域課題解決に向けた取組にチャレンジします。

区民から事業提案を募集し、審査・選考により助成

- ・事業の公募(H20年12月～H21年1月)
- ・審査(H21年2～3月)
- ・協働事業の実施(4月～)
- 活動報告会(シンポジウム)の実施(3月)

#### 目標

- ・21年度採択事業の確実な実施
- ・22年度に向けて、新規に5つの協働事業の採択

**市民活動が活性化するための支援をします**

緑区市民活動支援センターでは、様々なセミナーや交流事業が区民と行政の「協働」によって実施されています。

また、市民活動団体間の交流と新しいネットワークの形成、講座を通じた仲間作りや企画運営を担う人材の育成を行っています。

(H20年度の実績)  
市民活動支援セミナー:6講座 14回  
交流事業等の開催:6事業  
生涯学習や国際交流に関する講座:9回  
など

区民と区役所の協働により、市民活動の活性化を目指します。

市民活動支援セミナーの開催

- ・団体運営講座(6月～)
- ・みどり定年塾(9月) など
- 交流事業等の開催
- ・市民活動団体交流会(9月)
- ・ちょっと先生フェスタ(11月)
- ・市民活動に携わる方と地域との交流「サロンふらっと」開催 など
- 生涯学級や国際交流に関する講座の開催
- ・夏休みこども講座(8月)

**目標**

- ・支援センター登録団体:220団体
- ・利用人数:15,000人

**スポーツ振興事業****スポーツをすることで健康でいきいきしたまち緑区に**

多くの区民がスポーツに取り組んでいます。さらに多くの人に参加してもらい、健康でいきいきしたまちをつくる必要があります。



スポーツを通じた健康づくり、健康増進、またスポーツの盛んなまちづくりを支援します。

- ・緑区体育協会の支援(通年)
- ・みどりファミリースポーツ大会の開催(6月)
- ・地域スポーツ普及支援事業(通年)  
体育指導委員等が新たに企画する継続的な区民参加型のニュースポーツ種目の大会立ち上げを支援します。
- ・緑区少年野球大会の開催(7月)

**目標**

- ・みどりファミリースポーツ大会の参加者:500人以上
- ・地域スポーツ普及支援事業への申請団体3団体以上

商店街の“こだわり”再発見事業<地域振興課 地域活動係>  
緑区内の“こだわり”を持っている商店によるキャンペーンを開催します。

パソコンひろば@ (あっと)みどり事業<地域振興課 生涯学習支援係>  
区民へのIT普及を進めるため、ボランティア団体「みどりITコミュニティーサポーターズ(MICS)」と協働し、パソコン相談コーナー「めだかの学校」を運営するとともに、IT講習会を開催・運営します。

学校・地域連携支援事業<地域振興課 学校支援・連携担当>  
中学生の職場訪問事業を支援します。

青少年地域サポート事業<地域振興課 学校支援・連携担当>  
青少年に対するボランティア活動を支援します。

区民から親しまれる区役所づくり事業(後述)<総務課 庶務係>

## もしもの時に備えます

防災・防犯対策、感染症対策等について、地域の特性に応じた、区民の主体的取組を支援し、安全・安心なまちづくりを進めます。

### 災害が起きた時のために

首都直下地震の切迫性も強く叫ばれており、防災対策を一層強化する必要があります。そのためには、「自らの身は、自ら守る（自助）・みんなのまちは、みんなで守る（共助）」という意識を一人ひとりが常に持つことが大切です。

これに「行政が実施している支援（公助）」を加え、万が一に備えています。



## 地域防災力の向上

総務課 危機管理担当

### 地域の防災力を活かし災害時に備えます

- ・地域防災力の向上を図る必要があります。
- ・区内 22 箇所ある各地域防災拠点に災害時にアマチュア無線を利用できる人材が不足しています。
- ・近年多発するゲリラ豪雨にも対応できる区防災計画 風水害編 を策定する必要があります。

#### 平成 20 年度 横浜市市民意識調査

- ・防災・防犯などの安心さ「よい」「どちらかというよい」が 23.8%（市平均：29.8%）（18 区中 16 番目）
- ・市政への要望（緑区）地震などの防災対策/防犯対策 37.6% (2 位)

地域の防災リーダーやボランティア等のネットワーク化やフォローアップにより地域防災力の向上を図ります。  
地域の防災リーダー養成講座受講者による緑区防災ライセンスネットワーク(仮称)の設立  
・会員による資機材取扱訓練の実施、地域防災拠点での訓練指導（訓練 11 月、指導 1 月）  
災害ボランティアコーディネーター養成講座受講者によるフォローアップ訓練の開催（7、12 月）  
アマチュア無線資格取得講習会の開催  
緑区防災計画 風水害編 の策定（3 月）



#### 目標

- ・防災訓練における資機材取扱指導者数：44 人
- ・アマチュア無線資格取得者が全拠点に 1 名以上養成されている。
- ・関係機関と調整を図った実効性の高い緑区防災計画 風水害編 が策定されている。

## 新型インフルエンザ対策

総務課危機管理担当、福祉保健課事業企画担当

### 新型インフルエンザのために備えます

新型インフルエンザに対応するために対策マニュアルを策定します。また区民の方に新型インフルエンザに対する知識の周知が必要です。

区役所内に検討委員会を設置し対策マニュアルを策定します。

- ・対策マニュアルの策定
- ・区民への新型インフルエンザに対する広報の実施

#### 目標

- ・対策マニュアルに基づき、市と連携しながら具体的な対応ができています。

**災害時の要援護者への対応が求められています**

災害発生に備え、日頃からの要援護者把握と支援体制づくりが地域に求められています。



「防災ささえあいカード」による要援護者把握に取り組みます。

未実施拠点への啓発

・説明会を開催するとともに、チラシ等を配布

既実施拠点への支援

・災害時要援護者の状況把握支援

・実担当者への研修会の実施

目標

・未実施拠点での要援護者把握支援事業の実施拡大

・「防災ささえあいカード」の市民活動レベルでの展開を前提とした積極的なPRを検討

**地域防犯力の強化**

**刑法犯が増えています**

平成 20 年の犯罪認知件数は振り込め詐欺や、自転車盗、バイク盗の増加により、前年より 3.2%増加しました。



防犯リーダー養成講座の様子

地域の防犯活動を支援するため、引き続き防犯リーダーの養成や活動グループの交流会などを実施します。

・自動車・自転車盗防止対策などの啓発キャンペーン(5月)

・地域防犯リーダー養成講座(9月)

・防犯活動報告会(11月)

・自治会、PTA等へパトロール用品を提供

・緑区防犯情報メールの配信(通年)

目標

・緑区防犯情報メール登録者数:1,000人以上

・犯罪認知件数を対前年比:8%減



**こどもの安全支援**

**学校や地域と連携して安全支援に取り組んでいます**

子どもの見守り体制の強化や、子ども自身が自ら身を守る方法を身につける必要があります。

学校や地域と連携してこどもの安全支援に取り組みます。

CAP(子どもへの暴力防止)研修を推進

・小学校4年生を中心に区内全16校で実施(~12月)

・保護者、教職員、地域向けに区内全16校で実施(~12月)

緊急連絡システムによる犯罪情報等のメール配信(通年)

地域と学校のこどもの見守り活動の支援(通年)

スクールゾーン協議会との連携強化(通年)

目標

・保護者等対象のCAP研修参加者数:全体で500人

**暮らしの衛生推進事業**

**区民の安全で快適な生活を守ります。**

- ・食に対する不安が増大しています。
- ・動物の飼い主のマナーや不適切な飼育方法に起因する苦情・相談が区役所に多く寄せられています。
- ・レジオネラ症の原因として疑われることのある浴場施設等への継続的な監視指導と啓発が必要です。

マナーを守りましょう



**食の安全確保**

社会福祉施設を含めた食品関係営業施設の監視指導の実施とともに、食に関する意見交換会や食中毒防止キャンペーン等を行います。

**人と動物との共生事業**

犬の放し飼いの禁止や糞の持ち帰りを啓発するキャンペーンの実施や、猫の屋内飼育推進、動物愛護の普及啓発を行います。

**居住衛生推進事業**

レジオネラ症やシックハウスに対する講習会の開催や昆虫等の防除についての相談、啓発等を行います。

目標

・普及啓発の実施により、苦情件数が減少している。

## 区民のつながりを強めます

区民がともにささえ合い、高齢者・障がい者・子育て世代など誰もが安心して健康に暮らせるまちづくりを地域と協働で進めます。

### みどりのわ・ささえ愛プランの推進

福祉保健課 事業企画担当

#### 地域での新たな活動を広げます

平成 18 年に策定された「第 1 期みどりのわ・ささえ愛プラン」推進と検証を行い、平成 23 年度からの「第 2 期みどりのわ・ささえ愛プラン」の策定準備に取り組みます。

#### 【プラン策定進捗図】(年度)



地域福祉保健計画を緑区社会福祉協議会と共に推進します。

みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会の開催(年 4 回)

- 区全体における計画の進捗状況を確認し、第 2 期計画の策定に関する内容を協議します。

第 2 期計画策定のための準備および調査

- 第 1 期計画における区民意識ニーズのアンケート調査を実施します。(7~12 月)

よりエリアをわけた地区別計画策定に向けた準備

- 地区別計画策定準備のための会の立上げを検討します。

#### 目標

- 「第 1 期みどりのわ・ささえ愛プラン」推進における評価とりまとめ作業の着手

- 「第 2 期みどりのわ・ささえ愛プラン」の策定準備

- 地区別計画策定のための地域支援の充実に向けた体制づくり

### 認知症予防・脳若返り事業

高齢・障害支援課

#### 認知症予防の普及啓発を行います

高齢化が進み介護予防の取組が強く求められています。

認知症予防教室の開催だけでは、認知症予防における区民の多様なニーズに対応できていません。そのため、多くの区民が認知症予防についての理解を深め、各人に適した予防活動につなげられるよう普及啓発活動を進めていく必要があります。



認知症への理解と予防について普及啓発を進めます。

- 脳の健康度テスト(7 月、4 回)

- 脳いきいきウォーキング講座の開催(6・9・11・2 月)

- 区民との協働による認知症予防啓発活動

- 「みんなの交流会」開催(2 月)

- 自主活動グループ連絡会の定期開催支援 年 4 回

#### 目標

- 脳の健康度テスト実施者: 80 人

- 脳いきいきウォーキング講座参加者: 100 人

- 「みんなの交流会」参加者: 100 人

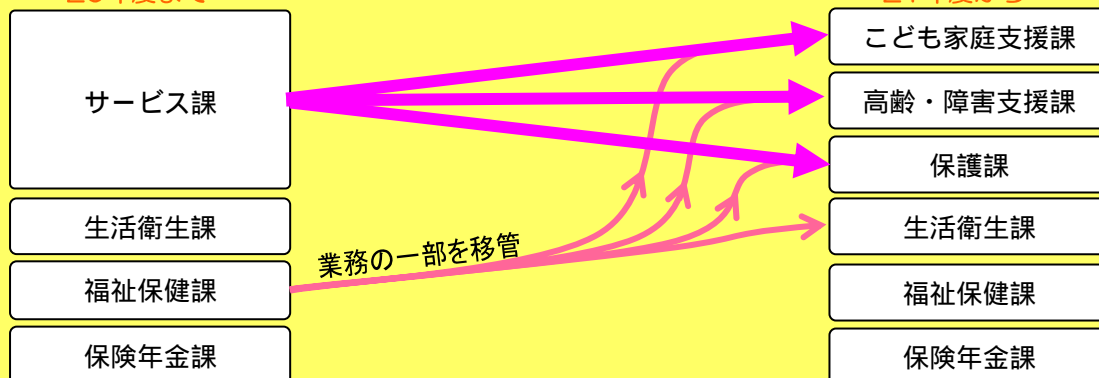
- 自主グループ連絡会: 4 回開催

### 4月1日に、福祉保健センターの機構改革を行いました

これまでよりも区民の方に分かりやすく、専門的な相談からサービス提供までを一貫した体制で行うため、サービス課を再編するとともに、福祉保健課の業務の一部を移管しました。

20年度まで

21年度から



**地域と連携して健康づくりの環境を整えます。**

「健康横浜 21」を推進していくことで、生活習慣病の予防を重点とした区民の健康づくりをすすめるため、取り組みやすい環境を整備する必要があります。

**【健康横浜 21 分野別目標】**

- 食生活の改善
- ・一日あたりの野菜摂取量  
350g 以上（市民一人あたり）

**毎月1日は『思いやり健康づくりの日』**

平成 11 年 区制 30 周年を記念して毎月 1 日を「思いやり健康づくりの日」と定めています。

「健康横浜 21」の目標を達成するため、区民や地域団体・関係機関と協働で推進する仕組みづくりや意識啓発事業に取り組みます。

- ・健康づくり月間に啓発事業を区民まつり会場で実施(10月)
- ・健康づくり講演会開催(10月)
- ・生活習慣病予防教室や健康づくり研修会を各地域で実施
- ・緑たっぷり召し上げ料理コンクール開催(12月)

**目標**

- ・健康づくり月間行事及び講演会参加者数:4,000人以上
- ・健康チェック及びセミナー参加者数:2,000人以上
- ・生活習慣病予防教室や研修会開催箇所数:11箇所以上
- ・料理コンクール出品レシピ数:100点以上
- ・地域での教室や研修会:11箇所以上
- ・野菜教室開催数:6回
- ・学校連携事業参加校:6校以上

## ほっとホームステイ・サポート事業

## こども家庭支援課

**子育て世代が多い区です**

緑区は、市内でも 15 歳未満の割合が大きく、子育て世代が多い区です。

地域・血縁関係が薄れてきていることで、保護者の入院や兄弟児の出産等で養育が困難になった場合、預け先がない家庭が増加しています。

今後も子育てのしやすい地域づくりを目指し、地域全体で子育てを支援できる体制を充実させていきます。

- ・15歳未満の割合:14.8%  
(市:13.4%、18区中 3位)  
【平成 21 年 1 月現在】

一時的にこどもの養育ができないときに、地域のホストファミリーがこどもを預かる「ほっとホームステイ・サポート事業」をさらに推進します。

- ・ホストファミリー認定
- ・事業 PR のための啓発
- ・地域支援者会の開催(11月)
- ・ホストファミリー研修の実施(8、2月)

**目標**

- ・ホストファミリー数:16家庭



## 地域ふれあい事業「フェスタみどりのわ」

## 高齢・障害支援課

**障がい者への理解促進を進めます**

障がいの有無にかかわらず、互いに交流する機会を持つことにより、障がいへの理解を深める必要があります。

引き続き、障がい児・者への理解促進や啓発を継続していく必要があります。

地域の中で障がい者が安心して暮らせる、地域の連携体制を目指し、障がい者音楽交流会「フェスタみどりのわ」を開催します。

(実施主体:みどり地域活動ホームあおぞら 20年度～)

**目標**

- ・障がい児・者への理解や、地域住民との相互の関わり合いを広げ、コミュニケーションができる環境づくりが促進されている。
- ・音楽交流会参加者数:300人(ボランティア等のスタッフ含む)

## ママのハートバランス事業

## こども家庭支援課

**子育て不安に悩む保護者のために**

核家族化・少子化・転入者の増加に伴い、子育て不安に悩む保護者が増えています。

子育て不安の解消を支援します。

- ・個別心理相談の実施
- ・医師及び心理職による、個別ケースに関するスーパーバイズカンファレンスの実施

**目標**

- ・子育て不安の解消
- ・地域人材の育成

#### DV 対策事業 こども家庭支援課

女性相談員による相談、弁護士による法律相談等を実施し、DV 被害者の相談体制を充実します。

#### あんしん子育て応援事業 こども家庭支援課

安心して子育てができるまちづくりを目指し、地域での様々な子育て支援を実施します。

#### 一時託児事業 こども家庭支援課

区で実施する事業に一時託児を提供します。

#### あつまれっ！みどりっこまつり こども家庭支援課

区内の未就学児家庭が参加できるイベントを実施し、育児や保育園に関する情報を提供することで、保育園が地域の子育てを支援します。

#### 保育園地域応援事業 こども家庭支援課

地域の未就学児家庭に対して、市立・民間保育園が開放している行事やサービス等の情報提供を行い、保育園の入所児童以外の家庭も安心して子育てができるよう応援します。

#### 精神障がい者家族あんしん入院支援事業 高齢・障害支援課

精神障がい者の在宅生活が家族の急病等で一時的に困難になったとき、緊急に入院できる体制を整え、地域の中で家族、本人が日常生活を送ることを支援します。

#### 高齢者ふれあい事業 高齢・障害支援課

各種演芸等の催しを行うことで、高齢者同士の交流を深め、社会参加を促します。

#### 地域のささえ愛事業 高齢・障害支援課

地域の高齢者や障がい児等の要介護者に対して行う移送活動、地域デイサービスなどを支援します。

#### 養育ネットワーク事業 こども家庭支援課

育児不安を抱える養育者の孤立化を防ぐため、赤ちゃん教室を開催します。



## 緑区を広く発信します

緑区には豊かな自然のほかにも様々な魅力があります。その魅力を広く区内外に向けて発信し、緑区への集客を高めます。また 10 年後の 50 周年に向けた新たな区の魅力アップにつながる施策を推進します。

### 広報活動の実施

区政推進課 広報相談係

#### 区民の皆さまに情報を発信します

区制 40 周年を盛り上げるために、区民への情報提供のさらなる充実を図る必要があります。



40周年PR誌  
(21年1月発行)

広報  
みどり区版

既存広報媒体による区制 40 周年の PR を行います。

・広報よこはまみどり区版、ホームページ

区制 40 周年を記録として残すとともに、緑区のみどころの写真などを掲載した「緑区制 40 周年記念誌」を発行します(12月)。

#### 目標

・記念誌発行部数:3,000部

・ホームページアクセス件数:2,100,000件(前年度比 約7%増)

・広報よこはまみどり区版の内容に関する

読者アンケートの満足度:50%以上

### 広聴の充実

区政推進課 広報相談係

#### 皆さまの声を聴き、区政に反映させます

区民の皆さまから様々な要望・提案を伺うため、あらゆる手段、機会を設ける必要があります。



様々な機会を設けて、区民の皆さまの声を聴きます。

地区懇談会の開催(5~7月)

11 地区連合自治会に訪問し、21 年度の主要事業を紹介し、地域で抱える様々な課題、提案などを伺います。

区民と区長のこもれびトーク開催(10~2月)

自主活動グループが区長と懇談し、区政・市政に反映させます。

緑区役所意見箱の運営

区役所来庁者から意見を聴き、区の回答を庁舎に掲示することで、区民への対応を広く周知します。

シティーフォーラム(北部)の開催

環境や地球温暖化をテーマに開催します。

#### 目標

・地区懇談会参加者数:450人

・区民と区長のこもれびトーク参加人数:35人

・シティーフォーラム(北部)参加人数:500人

長津田駅行政サービスコーナー図書返却ボックス運営事業<区政推進課 企画調整係>

長津田駅行政サービスコーナー内に設置した図書返却ボックスの管理・運営を行います。

区行政推進事業<区政推進課 企画調整係>

区民ニーズを踏まえた区政を推進するため、関係機関との調整、改善・解決策の検討を進めるほか、区の主要事業や運営方針の周知を行います。

未来へつなぐまちの魅力アップ事業(再掲)<区政推進課 企画調整係>

緑区の持つ豊かな自然や歴史など、魅力ある自然を市の内外に広く発信し、多くの人々が緑区を知り、訪れることにより、活気あるまちづくりを進めるため、区民とともに新たな魅力発掘を進めます。

# 区役所サービスと職員満足度向上に向けた取組

## 区民から親しまれる区役所づくり事業

総務課庶務係、全課

### 区役所サービスの向上に努めます

改革推進委員会を中心に、接遇の向上などの改善に取り組んでいます。

20年度に実施した外部機関による評価は次のとおりです。

#### 【外部機関による窓口評価結果】

5点満点で 全体平均3.2点

(項目ごとの平均点)

- ・身だしなみ 3.5点
- ・待機(目配り) 3.4点
- ・あいさつ 2.8点
- ・コミュニケーション 3.5点
- ・電話対応 3.2点

(5課12窓口を対象に実施)

来庁された市民に行った窓口サービス満足度調査で満足度が50%以上の項目が11項目中8項目ありました。

区民の皆さんに気持ち良く区役所を利用いただくために、区役所サービスの向上に向けた取組を推進します。

#### 緑区改革推進委員会

・区役所全体に係る改善策を検討・実施

#### 緑区好感度アッププロジェクト

・区役所の好感度アップに向け、各課から自主的に集まった職員が、身近な改善に取り組む(随時)

#### 研修の実施

・運営責任職を対象に外部講師による接遇リーダー研修(9月)

・転入職員を対象に、内部講師によるマナー講習(5月)

・外部機関による窓口調査(12月)

・緑区窓口サービス標準[各課版]の作成(3月)

#### 目標

・運営責任職の接遇リーダー研修受講率:100%

・外部機関による窓口評価で、全項目が4点(ほぼきている)以上の評価を得る。

・区民の方からの職員の接遇に対するご意見(クレーム)を昨年度より減少させる。

・各課ごとの「緑区窓口サービス標準」が完成し、職員の窓口対応力が向上している。

## 事務処理ミス根絶の取組

全課

### 事務処理の正確性を向上させます

個人情報に伴う事務処理ミスが依然として発生しています。

個人情報保護の重要性をより一層認識して、業務を進めます。

個人情報保護研修を実施します。

ミスが起きた際の原因等を職員全員で共有し再発防止を徹底します。

#### 目標

・事務処理ミスや個人情報漏えい件数を昨年度より減少させる。

## 職場の目標の共有

全課

### 区役所の情報や目標を共有します

平成19年度職員満足度調査において、職場内の情報や組織目標の共有に課題があるといった結果を受けて、平成20年度から全区局の重点取組として、情報共有や運営方針の共有の取組みを実施しています。

全課で情報や目的を共有する取組

部課長会や各課での「朝礼」等の活用による情報共有の実施

区長メッセージのホームページ掲載

経営責任職による運営方針説明会の開催

区制40周年記念事業等、全課横断プロジェクトの実施

#### 目標

・職員満足度調査「職場内で仕事に関係する情報共有が図られている」の満足度が昨年より向上している。



平成 21 年度 緑区区政運営方針

平成 21 年 5 月 発行

横浜市緑区区政推進課

〒 2 2 6 - 0 0 1 3 横浜市緑区寺山町 1 1 8

電話 0 4 5 - 9 3 0 - 2 2 2 7 FAX 0 4 5 - 9 3 0 - 2 2 0 9

横浜市 コード  
**Co-Do 30**  
2025年までに温室効果ガス排出量を30%削減!

環境行動都市へ向け ハマっ子が行動します!  
**ヨコハマはG30**  
G30 487 Gomi-2025 Genyou-2025 30-2025削減目標30% G30 2025年10月1日より実施中。